

感染分子解析学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Kawasaki M, Fuchigami T, Kobashi N, Nakagaki T, Sano K, Atarashi R, Yoshida S, Haratake M, Nishida N, Nakayama M: Development of radioiodinated acridine derivatives for in vivo imaging of prion deposits in the brain. *Bioorg Med Chem* 25(3):1085-1093, 2017 (IF: 2.454)
2. Taguchi Y, Nishida N: Secondary-structure prediction revisited: Theoretical β -sheet propensity and coil propensity represent structures of amyloids and aid in elucidating phenomena involved in interspecies transmission of prions. *PLoS One* (<http://journals.plos.org/plosone/>) 12(2):e0171974, 2017 (IF: 2.806)
3. Makau JN, Watanabe K, Ishikawa T, Mizuta S, Hamada T, Kobayashi N, Nishida N. Identification of small molecule inhibitors for influenza a virus using in silico and in vitro approaches. *PLoS One* (<http://journals.plos.org/plosone/>) 12(3):e0173582, 2017 (IF: 2.806)
4. Watanabe K, Ishikawa T, Otaki H, Mizuta S, Hamada T, Nakagaki T, Ishibashi D, Urata S, Yasuda J, Tanaka Y, Nishida N. Structure-based drug discovery for combating influenza virus by targeting the PA-PB1 interaction. *Sci Rep* (<http://www.nature.com/srep/>) 7(1):9500, 2017 (IF: 4.259)

A-c

1. Satoh K, Atarashi R, Nishida N. Real-Time Quaking-Induced Conversion for Diagnosis of Prion Disease. *Methods Mol Biol* 1658:305-310, 2017

B 邦文

B-b

1. 西田 教行: 革新的医療研究開発で挑む神経変性疾患 –プリオン病治験体制の確立に向けて– プリオン病の超早期診断の試み. *臨床評価* 44(4): 706-711, 2017

B-d

1. 堀内浩幸, 田中祐美, 佐藤克也, 西田教行: ヒトプリオン病における H-FABP 髄液検査の標準化と B-FABP の動態. 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究 平成 26~28 年度 総合研究報告書, pp.89-93, 2017
2. 西田教行, 佐藤克也, 高月英恵, 新 竜一郎, 布施隆行, 岩崎 靖, 吉田眞理, 高尾昌樹, 美原 盤, 村山繁雄: RT-QuIC 法を利用した prion seeding activity の定量系の確立とヒトプリオン病の各臓器における prion seeding activity の検討. 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究 平成 26~28 年度 総合研究報告書, pp.94-97, 2017
3. 堀内浩幸, 田中祐美, 佐藤克也, 西田教行: ヒトプリオン病における H-FABP 髄液検査の標準化と B-FABP の動態. 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究 平成 28 年度総括・分担研究報告書, pp.30-33, 2017
4. 西田教行, 佐藤克也, 高月英恵, 新 竜一郎, 布施隆行, 岩崎 靖, 吉田眞理, 高尾昌樹, 美原 盤, 村山繁雄: ヒトプリオン病の各臓器における prion seeding activity の検討. 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究 平成 28 年度総括・分担研究報告書, pp.34-36, 2017

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	3	1	1	3

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
西田教行・教授	理事	アジア太平洋プリオン研究会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
西田教行・教授	日本医療研究開発機構	分担	日本医療研究開発機構研究費（難治性疾患実用化研究事業） プリオン感染試料中の薬物濃度分析及びプリオン病早期診断法の開発研究
西田教行・教授	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業） プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究
西田教行・教授	日本医療研究開発機構	代表	日本医療研究開発機構研究費 感染症研究革新イニシアティブ（J-PRIDE） 薬剤耐性 RNA ウイルス出現予測法の確立と迅速制御のためのインシリコ創薬
石橋大輔・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C) プリオン病分子病態の解明：新規治療法の開発に向けたインターフェロンシステムの解析
中垣岳大・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 若手研究（B） 孤発性クロイツフェルト・ヤコブ病に対する集学的治療法の確立
布施隆行・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 挑戦的研究（萌芽） 非侵略性検体（血液、尿）から異常型タウタンパク質の特異的な増幅法の開発
西田教行・教授	ロート製薬株式会社		QuIC 法を用いた脂肪由来幹細胞の異常プリオン発現解析

特 許

氏名・職	特許権名称	出願年月日	取得年月日	番号
西田教行・教授、 石橋大輔・准教授、 中垣岳大・助教	プリオン病予防・治療剤	平成 28 年 8 月 31 日		特願 2016-170349
西田教行・教授、 布施隆行・助教	α-シヌクレイン検出方法	平成 28 年 11 月 29 日		特願 2016-231861
西田教行・教授、	キノリノン化合物および抗 RNA ウイルス治療薬	平成 29 年 3 月 31 日		特願 2017-72230

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
西田教行・教授	非常勤講師（微生物学）	宮崎大学
石橋大輔・准教授	非常勤講師（微生物学、薬理学）	長崎玉成高等学校 衛生看護科